



「江の島丸」コラム

江の島丸と遊んでくれたイルカ達

大阪湾に現れたクジラの淀ちゃん、東京湾内で目撃されたトドやイルカの群れなど、大型海洋生物のニュースを聞くと、何だか「わあーっ」と明るくなってしまいます。

令和5年2月2日、小田原漁港から数キロ沖を航行中、少し離れたところにイルカがいるなーとぼんやり眺めていました。（この状況は普通にあります）

すると、僅か数メートルの至近距離から突然イルカが飛び跳ねたので驚きました。その後は沢山のイルカが江の島丸に向かってジャンプしたり、並走して遊んでくれました。これだけ多くの群れが近くで跳ねるのは珍しいです。この時目撃したイルカ達は小型のカマイルカだと思います。（画像1）

元気良く飛び跳ねている姿に刺激され、海洋観測の寒さも忘れてしまったほどです。

この日の昼食は、画像2の料理でしたが、並んでいるかぼちゃの天ぷらを見て、何だかイルカみたいで可愛いなと心の中でつぶやいていました。

海の仕事って本当に面白いなと再認識した次第です。



画像1 江の島丸と並走して飛び跳ねるイルカ



画像2 昼食

下船後、イルカの群れを目撃したことを動画を添えて船舶課長に報告したところ、カマイルカですか？との質問、「イルカの種類はなごり雪しか断定できません」と回答しました。

しばらくして課長より「イルカの白い模様をなごり雪というのか？イルカに詳しいなごり雪さんという人が居るのか？などと思い、ネットで調べた！が、しかし意味が分かった！すぐ分かる年代なのに。」と返信が来ました。

つまらない親父ギャグで滑った筆者は猛省するのであります…

余談ですが、イルカを見られなかった通信長にも動画を送り、全く同じような内容を交わしていました。

「イルカの種類はなごり雪しか断定できません」の通信長返信は「はいはい」だけでした。笑

※意味がわからない方は諸先輩方へ聞いてください。

船員の世代交代は必須だなと感じた航海士でした。